



為石小学校の合言葉 「ためし 最高！ ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



学校だより

- 楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
- 正しく めあてを しっかり守る
- たくましく めあてに向かって しっかり鍛える

ためし



令和7年12月1日号 文責 上久木田 雄二

発達障害もどき

先日コラムを読んでいたら、標記の言葉が出てきました。私としては初めて接した言葉でした。

ここ十数年で18倍に増えた発達障害診断に疑問を呈する書きぶりでコラムは進んでいます。

診断の多くは、

- 集中できない
- イライラが収まらない
- 衝動的に行動を起こす
- 自分の欲求を抑えきれない



などの子どもの姿から読み解かれるようです。

このコラムを書いた人の主張では、これら4つの子どもの姿からだけでは発達障害との診断は難しいということです。

この4つの姿の原因の多くは、

大人の生活時間で子どもが過ごす

ことで発生する姿なのだと言います。では、「大人の生活時間で子どもが過ごす」とはどんな姿だと思いますか。

次のような生活習慣に心当たりのある方はいらっしゃいませんか。

- 休みの前の日だからと遅くまで起きている
- 月曜日や連休明けだから寝坊しても仕方ない
- 休みの日の朝だから、寝だめする
- 休みの日の朝ごはんは、昼ごはんを兼ねる
- ファミリー層には向かない場所で外食をする

これらはすべて「大人の生活時間」です。このような生活が習慣化しているとすれば改善の余地があるということです。

「集中力がない」「イライラすることが多い」「衝動的な言動を止められない」「自分勝手な欲求を押し通そうとする」

ような子どもの姿が見られたら、ぜひ家庭の生活習慣を振り返り改善することが必要です。

これらの姿が学校で見られるときは、積極的に家庭と連携するように担任には指示しています。一緒に考えてまいりましょう。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

